

令和4年

第1回町議会臨時会

行政報告

(令和4年1月21日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、降雪による被害状況等、北京2022オリンピック競技大会、町の公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染状況及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてご報告させていただきます。

(降雪による被害状況等について)

はじめに、降雪による被害状況等について申し上げます。

日本海と関東付近にあった低気圧が急速に発達しながら北海道に接近したことにより、11日夜から12日の朝にかけて十勝管内の広い範囲で強い雪が降り続き、帯広測候所では1月として観測史上最大となる59センチの降雪を記録する大雪となりました。

この影響により、十勝管内の主要幹線道路では、自動車専用道路が道東自動車道と帯広・広尾自動車道の2路線、国道が38号外3路線が、それぞれ一部の区間において大雪やなだれのおそれがあるとして一時通行止めとなったほか、JRと路線バスの運休や航空機の欠航など、交通に大きな乱れが生じたところであります。

今回の大雪に伴う町の対応といたしましては、気象庁からの大雪警報の発表後直ちに、以後の交通障害や大雪、強風等による被害を想定し、防災行政無線、防災情報メール及びLINEにより、町民の皆さんに不要不急の外出を避ける呼びかけを行うとともに、職員においては豪雪災害に備え第1次警戒体制を敷き、関係職員を配置したところであります。

この大雪等に伴う本町の被害状況であります。公共施設につきましては、降雪による直接的な被害はありませんでしたが、12日朝からJR及び路線バスやコミュニティバスが、始発から全便運休となり、公共交通機関の運行に影響が生じたところであります。

また、学校につきましては、冬期休業中のため影響はありませんでしたが、学童保育所5施設については、登下校の安全を考慮し終日閉所としたところであります。

次に、農業の被害状況についてであります。営農施設につきましては、大雪の重

みにより、D型ハウス2棟及び豚舎1棟が一部倒壊したほか、ビニールハウス43棟が倒壊し、合計で30戸、46件の被害があったところでもあります。

これら農業被害につきましては、その実態を把握し、支援策について各農協と協議を重ねてきたところではありますが、育苗用ハウスが倒壊するなど来年度の営農に支障をきたす恐れがありますことから、12月1日から2日にかけての強風による被害と同様、幕別町農業ゆとりみらい総合資金貸付金の特例資金として無利子の融資を行う予定であります。

次に、道路の除雪状況についてであります。町道の除雪につきましては、11日23時から町内11事業者により、60台の機械をフル稼働し一斉除雪を始めましたが、23時から翌12日1時までの2時間で24センチメートルの降雪があり、朝方まで降雪が続く見込みでありましたことから、1回目の除雪終了後速やかに2回目の除雪を行ったところではありますが、雪の量が多く重たく湿った雪となったことから通常よりも難しい除雪作業となり、2回目の除雪が終了したのは作業開始から20時間後の12日19時となったところでもあります。

また、翌13日からは2次除雪として拡幅除雪や排雪作業、吹きだまりの除雪などを行い、交通障害が発生しないよう努めましたが、14日から断続的に強い風が吹き、夕方には吹込みのため除雪が間に合わない路線が発生したことから、町道豊岡高台線の町道千住豊岡線交点から町道日新線交点までの区間約5.6キロメートルについて、18時から翌朝7時まで通行止めとし交通の安全を図ったところでもあります。

(北京2022オリンピック競技大会について)

次に、北京2022オリンピック競技大会について申し上げます。

昨年12月29日から31日まで開催された「北京オリンピックスピードスケート日本代表選手選考競技会」において、本町出身の高木菜那さん、美帆さんのお二人が前回の平昌大会に引き続き、姉妹そろって日本代表に選出され、姉の菜那さんは、1,500メートルとマススタート、団体追い抜きの3種目、妹の美帆さんは、

500メートル、1,000メートル、1,500メートル、3,000メートルと団体追い抜きの5種目に出場することが決まりました。

町をあげてお二人を応援する体制を整えるため、町と幕別町体育連盟や幕別町スケート協会などの代表者等で組織する「北京2022オリンピック出場選手を応援する会」を12月9日に立ち上げるとともに、代表選手が発表された31日、町ホームページに応援メッセージを募集する特設サイトを開設いたしました。

さらに、1月3日に役場庁舎と札内コミュニティプラザ、忠類総合支所、18日に百年記念ホールとお二人の母校である札内北小学校、札内中学校の計6カ所に応援幕を設置したところであります。

また、競技が開催される日の応援につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大傾向にあることを考慮し、お二人が出場する2月7日の1,500メートルと15日の団体追い抜き、美帆選手が出場する17日の1,000メートルに絞り、リモート参加による応援を行うべく準備を進めております。

町といたしましては、両選手が3大会目となるオリンピック競技大会出場に当たり、前回の平昌大会以上の活躍を期待するとともに、お二人にとって悔いの残らない最高のレースになることを願っているところであります。

(町の公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染状況について)

次に、町の公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染状況について申し上げます。

1月15日に札内南小学校で児童1名の感染が確認されたことから、同日中に帯広保健所において濃厚接触者とPCR検査対象者を特定し、当該児童の学級を17日から検査結果が判明するまでの間、学級閉鎖にするとともに、それ以外の学級は16日に校内全体の消毒作業を実施し、17日から通常どおりの登校といたしました。

また、当該児童が13日と14日につくし学童保育所に登所していたことから、保健所では両日に登所していた児童全員についてPCR検査の対象とし、17日から検

査結果が判明するまでの間、臨時休所としたところであります。

19日にPCR検査の結果が判明し、全員が陰性であることが確認されましたことから、札内南小学校とつくし学童保育所の全てを20日から再開いたしました。

さらに、1月18日に明野ヶ丘スキー場のリフト運行業務に従事する受託企業の係員1名の感染が確認され、同日一緒に勤務していた職員がPCR検査対象者に特定されたことから、関係者は自宅待機とするとともに、18日にスキー場施設及びロッジ内の消毒作業を終え、スキー場は通常どおり営業したところであります。

なお、関係者につきましては、19日から20日にかけてPCR検査を行った結果、20日に全員陰性が確認されたところであります。

今回の学校施設等における感染については、幸いクラスターの発生には至りませんでした。感染力の強いオミクロン株への置き換わりが進んでおりますことから、今後におきましても、より一層の感染防止対策の徹底に努めてまいります。

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について)

次に、国の第1次補正予算に係る新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について申し上げます。

昨年12月27日に公表されました本町における交付限度額は、「感染症対応分」として4,540万2千円、「地域経済対応分」として1億7,292万6千円の合計2億1,832万8千円と示されましたことから、現在、関連予算を3月定例会に提案すべく、準備を進めているところであります。

以上、降雪による被害状況等、北京2022オリンピック競技大会、町の公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染状況及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてのご報告とさせていただきます。